

# 令和6年度 簿記大会[上級の部]

## 仕訳 (制限時間10分)

次の(1)～(10)の取引について仕訳を行いなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適切と思われるものを選び、記号で解答すること。なお、解答欄は全て埋まるとは限らない。

(1) 松山株式会社より裏書譲渡を受けていた約束手形640,000円について、取引銀行を通じて取り立てを依頼したところ、取り立て不能であったため、松山株式会社に対して手形代金の支払いを請求した。

ア. 支払手形    イ. 手形売却損    ウ. 支払利息    エ. 不渡手形  
オ. 未払金    カ. 当座預金    キ. 受取手形    ク. 雑損

(2) 株主総会により、繰越利益剰余金840,000円を財源とした配当が翌月末に普通預金口座より振込まれることが決議された。なお、株主総会時における資本金、資本準備金、利益準備金はそれぞれ10,200,000円、1,620,000円、857,000円であり、会社法に規定される最低限度額の準備金設定を同時に行う。

ア. 普通預金    イ. 資本準備金    ウ. 損益    エ. 利益準備金  
オ. 未払配当金    カ. 繰越利益剰余金    キ. 別途積立金    ク. 資本金

(3) 建物の修繕を行い1,200,000円(資本的支出820,000円、収益的支出380,000円)を小切手を振出して支払った。なお、当該修繕にあたって修繕引当金420,000円が設定されている。

ア. 修繕費    イ. 減価償却費    ウ. 固定資産除却益    エ. 当座預金  
オ. 減価償却累計額    カ. 現金    キ. 修繕引当金    ク. 資本金

	借方		貸方	
	記号	金額	記号	金額
(1)	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	
(2)	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	
(3)	( )		( )	
	( )		( )	
	( )		( )	

# 令和6年度 簿記大会[上級の部]

## 帳簿・伝票 (制限時間10分)

解答は解答用紙に

### 第1問

下記の資料にもとづいて各勘定を作成し締切りなさい。なお、当期の会計期間は×5年4月1日～×6年3月31日であり、金銭の受払いは全て普通預金口座より行っている。また、各勘定の空欄は[摘要]、(金額)を表している。

#### [取引]

- ×4年6月1日 A銀行より300,000円を借入れ、代金は普通預金口座へ入金された。当該借入金は年利率3%、毎年5月31日に100,000円の元本返済と利息の支払いを行う契約である。
- ×5年3月31日 決算日につき、利息の見越し計上を行った。
- ×5年4月1日 利息の再振替仕訳を行った。
- ×5年5月31日 A銀行に対する借入金の返済日が到来し、利息とともに支払った。
- ×5年6月1日 新たにB銀行より500,000円を借入れ、代金は普通預金口座へ入金された。当該借入金は期間2年、年利率5%、半年毎に元本の均等額と利息を支払う契約である。
- ×5年11月30日 B銀行に対する借入金の返済日が到来し、利息とともに支払った。
- ×6年3月31日 決算日につき、利息の見越し計上を行った。

#### 借入金

5/31	[	]	( )	4/1	前期繰越	( )
11/30	[	]	( )	6/1	[	]
3/31			次期繰越 ( )			( )
			( )			( )
			( )			( )

#### 未払利息

4/1	[	]	( )	4/1	前期繰越	( )
3/31	[	]	次期繰越 ( )	3/31	[	]
			( )			( )
			( )			( )
			( )			( )

#### 支払利息

5/31	[	]	( )	4/1	[	]
11/30	[	]	( )	3/31	[	]
3/31	[	]	( )			( )
			( )			( )
			( )			( )

## 令和6年度 簿記大会[上級の部]

## 工業簿記 (制限時間10分)

解答は解答用紙に

## 第1問

釘崎工業株式会社では製品Aを製造している。製品Aの標準原価カードが次のとおりである場合の各差異を計算しなさい

## 1. 標準原価カード

直接材料費	2kg	@100円	200円
直接労務費	0.5時間	@600円	300円
製造間接費	0.5時間	@1,000円	500円
製品A1個あたり標準製造原価			<u>1,000円</u>

## 2. 月次公式法変動予算

変動比率	@400円
固定費予算額	2,280,000円
基準操業度	3,800時間

## 3. 実際原価データ

直接材料費	1,466,520円 (14,520kg)
直接労務費	2,255,220円 (3,740時間)
製造間接費	3,750,000円

## 3. 生産データ

月初仕掛品	800個 (1/2)
当月投入	7,200個
合計	<u>8,000個</u>
月末仕掛品	1,000個 (4/5)
完成品	<u>7,000個</u>

なお、仕掛品の( )内は加工真直度を示す。  
また、材料は工程の始点で投入する。

- 設問1 直接材料費差異を計算するとともに、価格差異と数量差異に分析しなさい。  
設問2 直接労務費差異を計算するとともに、労働賃率差異と労働時間差異に分析しなさい。  
設問3 製造間接費差異を計算するとともに、3分法により各差異に分析しなさい。  
なお、能率差異は標準配賦率で計算すること。

# 令和6年度 簿記大会[上級の部]

## 工業簿記 (制限時間10分)

問1 ( ) 内には有利又は不利を明示すること。

設問1

直接材料費差異  円 ( ) 差異

分析：価格差異  円 ( ) 差異

数量差異  円 ( ) 差異

設問2

直接労務費差異  円 ( ) 差異

分析：労働賃率差異  円 ( ) 差異

労働時間差異  円 ( ) 差異

設問3

製造間接費差異  円 ( ) 差異

分析：予算差異  円 ( ) 差異

操業度差異  円 ( ) 差異

能率差異  円 ( ) 差異

# 令和6年度 簿記大会[上級の部]

## 財務諸表 (制限時間10分)

解答は解答用紙に

第1問 次の資料に基づいて、貸借対照表を作成しなさい。(会計期間:×5年4月1日～×6年3月31日)

### 決算整理前残高試算表

×6年3月31日

(単位:円)

借方	金額	貸方	金額
現金	759,840	支払手形	1,029,600
当座預金	660,000	買掛金	660,000
受取手形	942,000	長期借入金	600,000
売掛金	480,000	貸倒引当金	440
売買目的有価証券	264,000	建物減価償却累計額	900,000
繰越商品	258,000	備品減価償却累計額	90,000
短期貸付金	480,000	資本	3,000,000
建物	3,000,000	資本準備金	540,000
備品	360,000	利益準備金	336,000
土地	2,400,000	新築積立金	360,000
満期保有目的債券	490,000	繰越利益剰余金	608,500
仕入	3,360,000	売上	5,580,000
販売管理費	240,000	受取利息	12,000
保険料	32,640	受取配当金	6,240
支払利息	15,000	有価証券利息	15,000
	13,741,480		13,737,780

#### [決算整理事項等]

- 現金預金について調査したところ次の事項が判明した。
  - 得意先より掛代金¥15,000につき、当座預金口座に振込まれていたが未処理であった。
  - 仕入先の掛代金¥340,000につき、小切手を振り出していたが未処理であった。
  - 販売費¥32,760を現金で支払っていたが未処理であった。
- 期末商品棚卸高は次の通りである。棚卸減耗損、収益性の低下による評価損は売上原価に算入する。  
帳簿棚卸数量 1,440個 原価 @ ¥200 実地棚卸数量 1,380個 正味売却価額 @ ¥170
- 受取手形と売掛金の期末残高に対し2%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- 売買目的有価証券の内訳は下記の通りである。
 

甲社株式	帳簿価額	¥120,000	時価	¥130,000
乙社株式	帳簿価額	¥144,000	時価	¥136,000
- 満期保有目的債券は、×5年4月1日に社債5,000口(期間5年、利率年3%、利払日は年2回9月及び3月末日)を発行と同時に額面@ ¥100につき@ ¥98で買入れたものである。取得価額と額面金額との差額につき、償却原価法(定額法)を適用し、月割計算によって処理する。
- 固定資産について下記の方法により減価償却を行う。なお、残存価額はゼロとする。
 

建物	定額法	耐用年数	40年
備品	200%定率法	耐用年数	8年
- 未収利息を¥2,400計上する。
- 保険料は×5年7月1日に向こう1年分を支払ったものである。
- 法人税、住民税及び事業税は¥527,250であった。

令和6年度 簿記大会[上級の部]

財務諸表 解答用紙

第1問

貸借対照表

×6年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	( )	支払手形	( )
受取手形	( )	買掛金	( )
貸倒引当金	( )	未払法人税等	( )
売掛金	( )	流動負債合計	( )
貸倒引当金	( )	II 固定負債	
有価証券	( )	長期借入金	( )
商品	( )	固定負債合計	( )
短期貸付金	( )	負債合計	( )
未収収益	( )	純資産の部	
前払費用	( )	I 株主資本	
流動資産合計	( )	1. 資本金	
II 固定資産		2. 資本剰余金	
1.有形固定資産		(1) 資本準備金	
建物	( )	資本剰余金合計	
減価償却累計額	( )	3. 利益剰余金	
備品	( )	(1) 利益準備金	
減価償却累計額	( )	(2) その他利益剰余金	
土地	( )	新築積立金	
有形固定資産合計	( )	繰越利益剰余金	
2.投資その他の資産		利益剰余金合計	
投資有価証券	( )	純資産合計	
投資その他の資産合計	( )		
固定資産合計	( )	負債・純資産合計	
資産合計	( )	( )	